

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	廃棄物減量啓発事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	1	4	2	1	11	1		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり												
施策	56 廃棄物の減量と適正処理												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等							
		事業期間	年度～	年度									

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			107844	107000			
		飯田市小学校4年生数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
			1022				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	ごみを減らす。ごみを適正に処理する。	ごみ収集量	18目標	25500	最終目標	25100	
			18実績	25198	19目標	25420	↑
		23目標	25100	23実績		最終目標達成年度	
		ポスター応募点数	18目標	1022	最終目標		
18実績			705	19目標		↑	
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	小学生を対象に廃棄物減量・適正処理に関するポスターの原画を募集し、作品を掲示することによるごみ減量を図る。小学生対象に廃棄物の学習のため副読本配布 <参考> 細々目名:環境美化推進費	18年度の実績	・小学4年生を対象に「ごみ散乱等防止」に関するポスターの原画を募集し、優秀作品を「生活と環境まつり」において表彰及び展示する。また、市長賞はポスターとして市関係施設等に掲示し、市民にごみの減量、適正処理を呼びかける。 ・ごみ処理に関する副読本を、地域自治組織と共同作成し、小学4年生に配布し、環境学習に役立ててもらう。	ポスター作製枚数 ポスター掲示箇所数 副読本配布数	250 221 1022
		19年度計画	・小学4年生を対象に「ごみ散乱等防止」に関するポスターの原画を募集し、優秀作品を「生活と環境まつり」において表彰及び展示する。また、市長賞はポスターとして市関係施設等に掲示し、市民にごみの減量、適正処理を呼びかける。 ・ごみ処理に関する副読本を、地域自治組織と共同作成し、小学4年生に配布し、環境学習に役立ててもらう。	ポスター作製枚数 ポスター掲示箇所数 副読本配布数	250 221 1022

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	438	750
一般財源	0		
事業費計(A)	438	750	
人件費	正規職員所要時間	18年度 520	19年度 520
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,860	1,860
	トータルコストA+B	2,298	2,610

特定財源内訳や補足事項	その他(ごみ処理手数料)
-------------	--------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	ごみの適切に収集処理する ごみ分別の意識が高まり、ゴミの排出量が削減される。	啓発活動の回数 再資源化率 環境衛生組合等の活動の回数	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に散乱する空き缶の削減を目指し、始めた。 ・当市におけるごみ処理状況を理解してもらうため、飯田市独自の副読本を地域自治組織と共同で作成し、配布した。 	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初空き缶散乱防止をテーマとしてきたが、広く環境問題一般をテーマとして募集をすることとした。 	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校において、積極的に取り組む姿勢でいく。 ・副読本については、小学4年生の環境教育で利用されている。
--	--	---

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>ごみの適正処理は、環境問題の一部であり、資源の有効利用にもつながる。</p>	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p> <p>・市民意識の向上が、ごみの適正処理に結びつく。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由)</p> <p>ごみの適正処理は、今後も続く問題である。</p>	有効性評価 廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>・ごみの適正処理は、ごみの減量、不法投棄防止につながる。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>ごみの適正処理は、今後も続く問題である。</p>	他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由)</p> <p>・県でも環境に関するポスター募集はしているが、対象としている学年が違い統合不可能。 ・副読本については、飯田市独自で作成しており類似事業はない。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>・ごみの適正処理には、市民1人1人の理解と協力が必要である。</p>	効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)</p> <p>・ポスター募集については、小学校の協力により最低限の経費で実施している。 ・副読本については、飯田市独自で作成しており削減は不可能。</p>
			公平性評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>・ごみの適正処理は、ごみの減量、不法投棄防止につながり、ごみ処理経費の削減となる。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>・ポスターを利用した有効な啓発活動。</p>
---	---

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	